

気仙沼観光マーケティングレポート(平成 29 年 4 月版)

◆今月のピックアップ

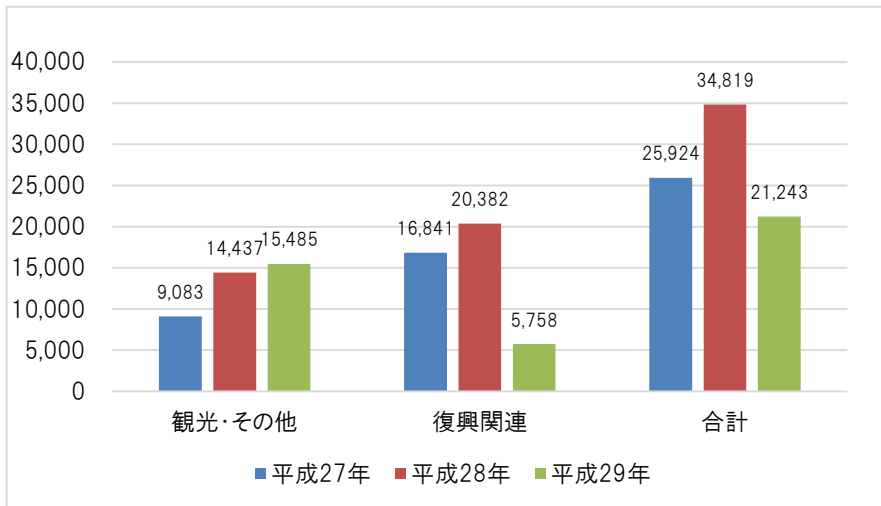
・28年に比べ、宿泊人数、観光施設の利用人数は減少している。復興関連の需要が減少している影響が考えられる。ただし、物販施設のレジ通過人数が増加していることと、観光施設利用者数はほぼ横ばいの為、観光全体の落ち込みはみられない。アクティビティの体験人数も減少しているが、コンテンツの開発などにより体験金額は増加している。

1. 宿泊

(1) 宿泊人数

(単位:人)

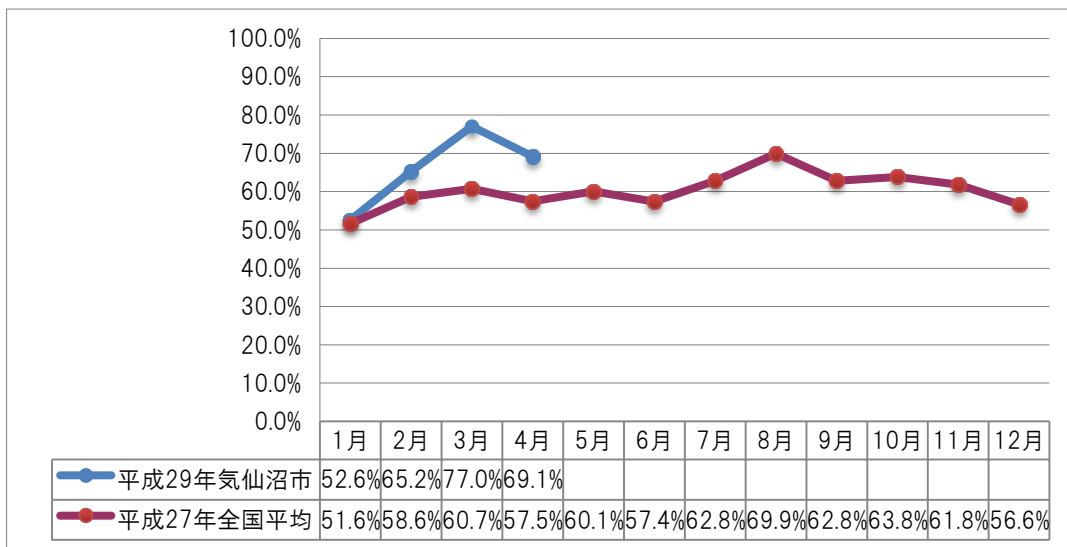
(単位:人)



宿泊者数	平成 27 年 (4 月)	平成 28 年 (4 月)	平成 29 年 (4 月)
観光 (その他)	9,083	11,497	6,682
復興関連	16,841	20,382	5,758
合計	25,924	34,819	21,243

※平成 29 年より「その他(主に復興事業以外のビジネス客)」の項目を増やし調査しております。

(2) 客室稼働率



《参考データ》

宿泊施設タイプ別 (全国平均)	平成 27 年 (4 月)
旅館	31.6%
リゾートホテル	52.4%
ビジネスホテル	73.2%
シティホテル	80.7%
簡易宿所	24.2%

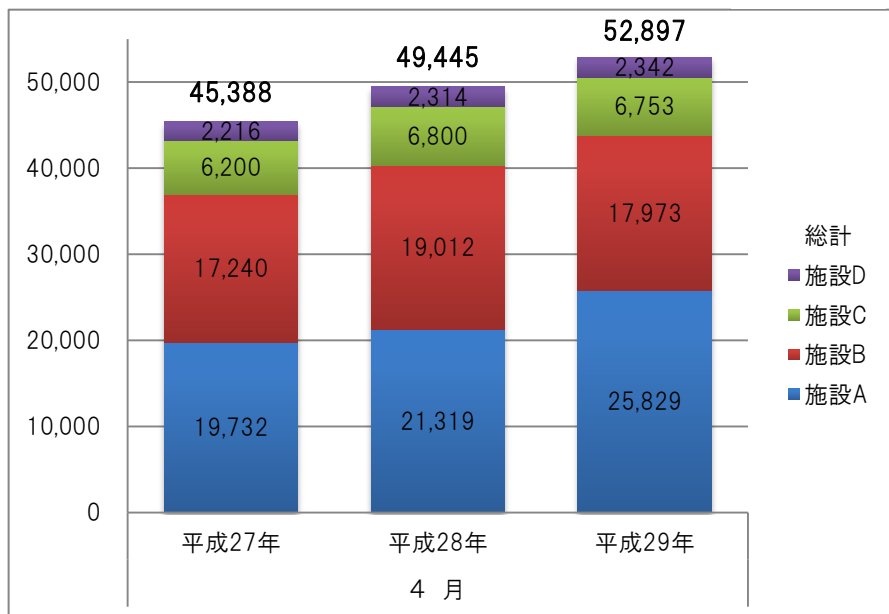
※平成 27 年全国平均は、観光庁宿泊旅行統計調査(平成 27 年・年間値(確定値))より

・平成28年と比べ復興関連の宿泊者が71.8%の減となった。一方、観光客の宿泊数(その他を含む)は7%の増。両方をあわせた宿泊者全体の数は39%の減となった。

2. 物販施設

(1) レジ通過人数

(単位:人)



(単位:人)

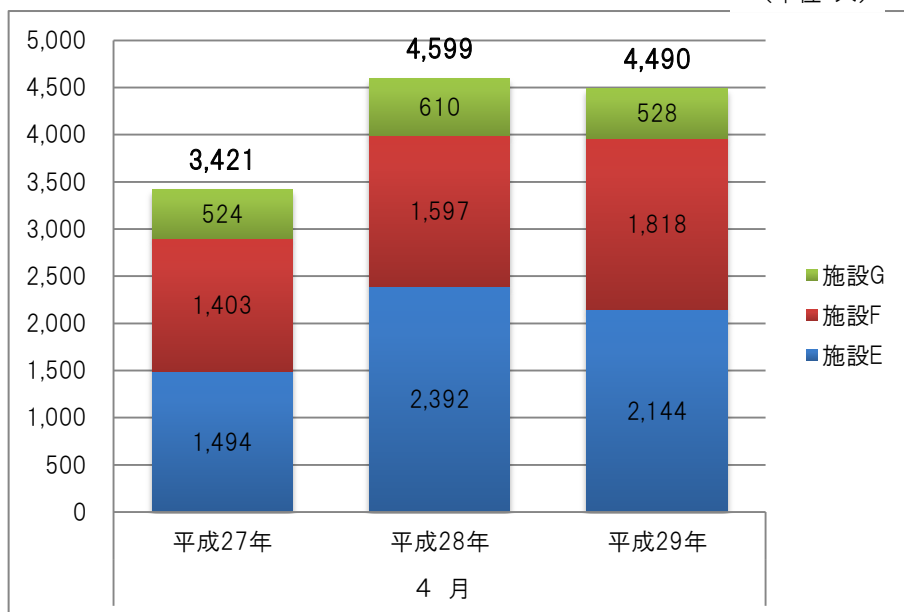
物販施設	平成27年 (4月)	平成28年 (4月)	平成29年 (4月)
施設A	19,732	21,319	25,829
施設B	17,240	19,012	17,973
施設C	6,200	6,800	6,753
施設D	2,216	2,314	2,342
合計	45,388	49,445	52,897

・施設Aが前年と比べ21.2%の増と大幅な伸びを示している。

3. 観光施設

(1) 利用人数

(単位:人)



(単位:人)

観光施設	平成27年 (4月)	平成28年 (4月)	平成29年 (4月)
施設E	1,494	2,392	2,144
施設F	1,403	1,597	1,818
施設G	524	610	528
総計	3,421	4,599	4,490

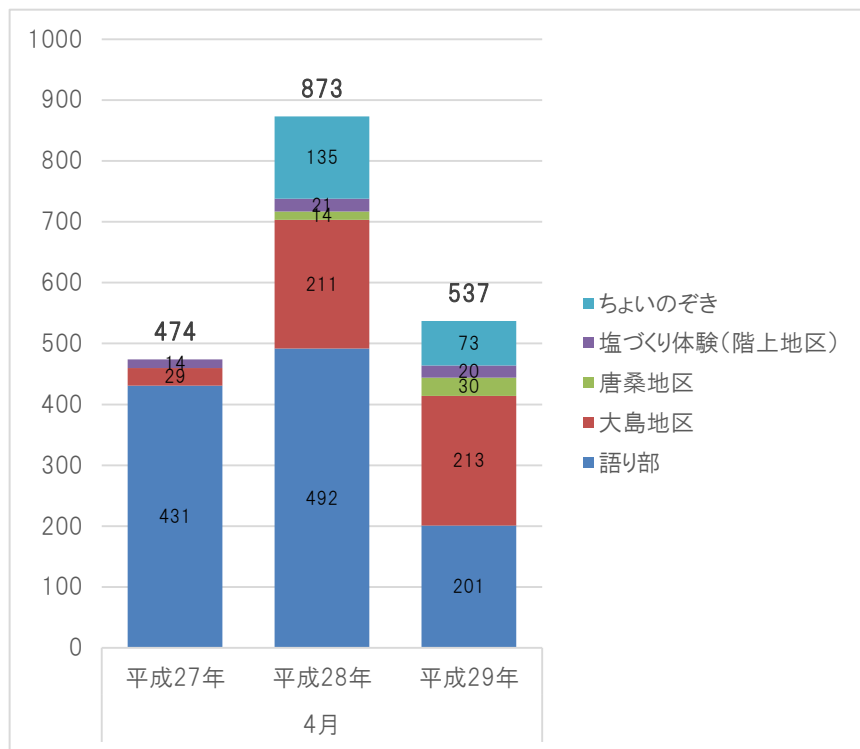
・物販施設Aに併設する観光施設Fも前年と比べ13.8%の増と大幅な伸びを示している。

4. アクティビティ体験

(1) 体験人数

(単位:人)

(単位:人)

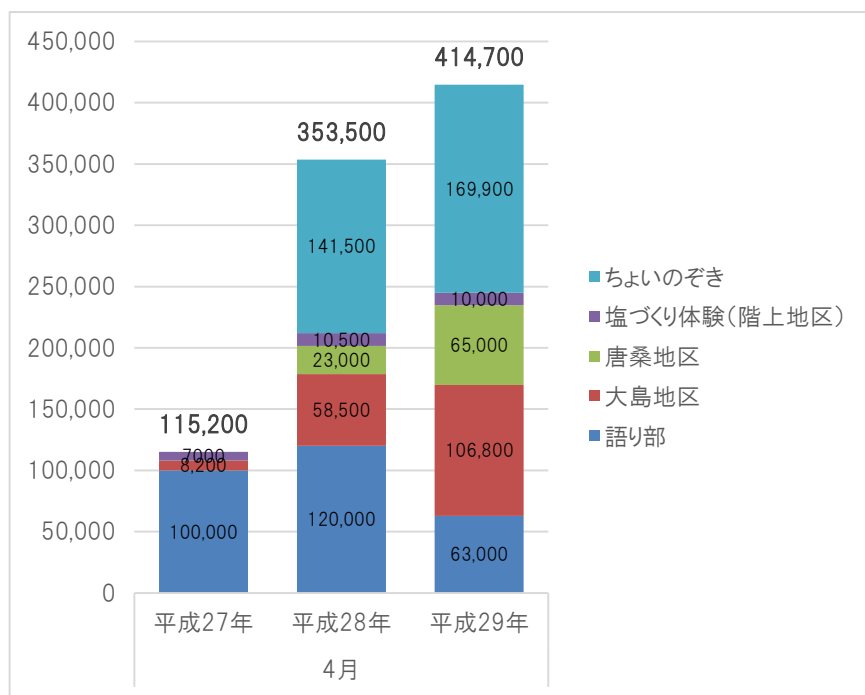


アクティビティ	平成 27 年 (4 月)	平成 28 年 (4 月)	平成 29 年 (4 月)
語り部	431	492	201
大島地区	29	211	213
唐桑地区	-	14	30
塩づくり体験 (階上地区)	14	21	20
ちよいのぞき	-	135	73
合計	474	873	537

(2) 体験金額

(単位:円)

(単位:円)



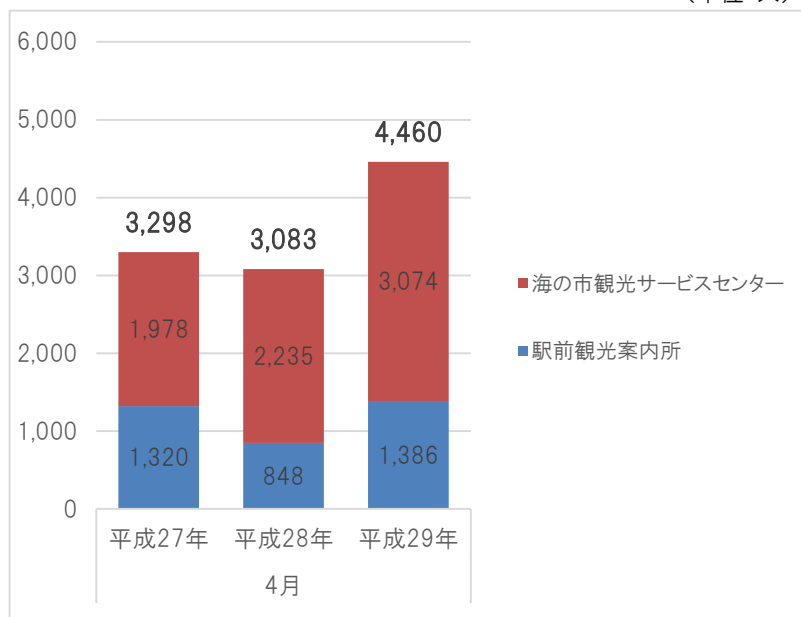
アクティビティ	平成 27 年 (4 月)	平成 28 年 (4 月)	平成 29 年 (4 月)
語り部	100,000	120,000	63,000
大島地区	8,200	58,500	106,800
唐桑地区	-	23,000	65,000
塩づくり体験 (階上地区)	7,000	10,500	10,000
ちよいのぞき	-	141,500	169,900
合計	115,200	353,500	414,700

・アクティビティ体験人数の合計は減少しているが、体験金額に関しては28年と比較して15%増加している。大島地区は体験人数はほぼ横ばいだが、体験金額は45%増加している。

5. 観光案内所

(1) 利用人数

(単位:人)



(単位:人)

観光案内所	平成 27 年 (4 月)	平成 28 年 (4 月)	平成 29 年 (4 月)
駅前観光案内所	1,320	848	1,386
海の市観光 サービスセンター	1,978	2,235	3,074
合計	3,298	3,083	4,460

・観光案内所の利用人数は28年に比べて30%増加している。

本レポートに関する御質問、改善の御提案は、以下まで御連絡ください。

【お問い合わせ先】気仙沼観光推進機構 0226-25-7115 info@rias-kanko.com